

平成30年10月11日

豊洲市場開場にあたって（幹事長談話）

東京都議会自由民主党
幹事長 吉原 修

本日、多くの関係者が待望していた、豊洲市場が開場しました。

豊洲開場にあたり、これまで、83年にわたり、築地ブランドを作りあげ継承してこられた、築地市場関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

そして、豊洲移転を成功させるために、全力で取組んで来られた皆様のご努力を重ねて感謝申し上げるとともに、関係事業者及び都職員の皆さんの献身的な取組に対しても、改めて感謝申し上げます。

思えば、平成28年11月7日の当初移転の直前、小池知事が突然、移転延期を発表し、それからの2年間は混迷と停滞を極め、多額の財源と時間が浪費されることになりました。

しかし、本日、ようやく移転が完了し、日本を代表する新たな市場が、豊洲に開場しました。豊洲市場は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会は勿論、その先の東京の発展に繋がる大きな好機です。都民、国民そして海外の方々にも親しまれ、愛される市場として発展することを大いに期待しております。

しかしながら、これからが本番です。交通アクセスを含め、円滑な市場運営に向けて、市場関係者と利用者のニーズにきめ細かく応え、使い勝手のよい質の高い市場になること。世界に冠たる豊洲ブランドを構築すること等に全力で取り組む必要があります。

もちろん、2020年東京大会以降に先延ばしされた先客万来施設の整備及びそれまでの仮設施設の運営、そして、築地再開発の去就、さらには、移転延期により影響する東京大会の輸送体制など、まだまだ課題は山積しています。

都議会自民党は、引き続き、これらの課題解決に全力で取り組むとともに、豊洲市場が世界で一番の市場となることを目指して、議会の権能を発揮してまいります。

豊洲開場日の前日には、我が会派が、幕を閉じる築地と、スタートを切る豊洲の両市場を訪れ、こうした思いを強くしたところです。これからも現場を大事に、都民目線で、豊洲市場を全世界に発信してまいります。

以上